



金山焼

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 工夫しながら創作する喜びを味わう。
- 活動の思い出となる手づくりの記念品を作り上げる。

2 活動の概要

五所川原市金山地区の大溜池より採れる良質の粘土を使った地域の陶芸「津軽金山焼」の製作を当施設で体験する活動です。

- (1)人数 120人以内
- (2)対象 小学校3年生以上
- (3)期間 通年
- (4)時間 2～3時間（説明30分+活動90～150分）
- (5)場所 体育館、研修室1・2
- (6)経費 410円／1作品(粘土300g)
- (7)指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行います。



<作品例>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材料：粘土 用具：ブルーシート、乾燥箱、洗面器、ベニヤ板、テグス、弓、へら、ニードル 箸、スポンジ、雑巾、作業板

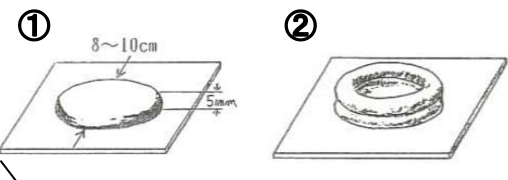
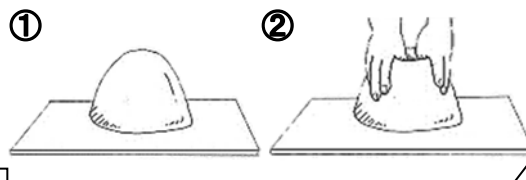
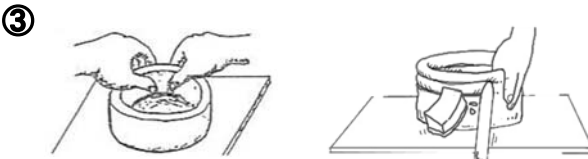
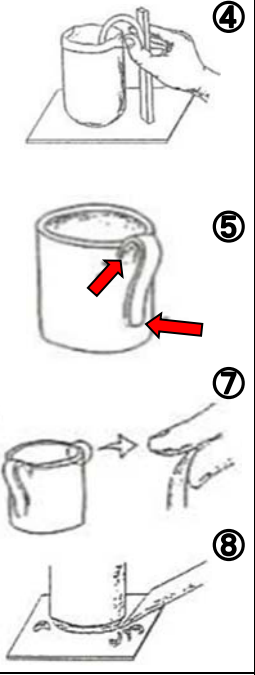
4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<作品例2>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を提示しながら、作り方について説明 ・用具の使い方と安全について説明
活 動	<p style="text-align: center;">(例) マグカップを作る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ひも作り技法】</p> <p>①作業ベニヤ板の上に、丸く平らに伸ばし底部を作る。(厚さは5mm程度) ②太さの一定なひも状の粘土を底部外周にのせ、一周させた後、よく密着させる。</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【アポロ技法】</p> <p>①作業板の上に、粘土の半分を取って山を作る。 ②山の頂上に、両手の親指で穴を開ける。</p>  </div> </div> <p>③カップの形を整える。高さを出したいときは、粘土の残り半分で作った輪を積み重ねる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・輪と輪のすき間は手やへら、少量の水をつけたスポンジでつぶす。 ・ベニヤ板を回転させると作業しやすい。 <ul style="list-style-type: none"> ・側面が広がらないようにする。 ・形を作るときは、1) 高さは15cm以内。 2) 大きさは作業板からはみ出ない。 3) 厚さは5mm以上(特に底面)とする。 ・表面に水をつけすぎない。 <p>④口の不ぞろいな部分を切り落とす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓を固定し、作業板を回しながら切る。2人でやると上手いく。 <p>⑤細長い粘土をつけ、「とって」にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグカップ本体によく密着させ、一体となるようにする。 <p>⑥へらや箸、ニードルを使い模様をつける。</p> <p>⑦唇のあたる部分を指でつぶし、スポンジ等でなめらかにする。</p> <p>⑧底の余分な粘土をへらで削り取り、角を落とす。</p> <p>⑨テグスを使って作業板から切り離す。</p> <p>⑩底面にニードルで所属、氏名、製作月日をみやすい字で書く。(忘れずに！)</p> <p>⑪作品を乾燥箱に入れる。</p> 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表や友達の作品の鑑賞 ・用具の返却と後片づけ

6 実施上の留意点

- ・2週間前までに、製作数を自然の家に連絡する。
- ・製作後、乾燥～焼き上がりで約3ヶ月程度かかる。
- ・焼き上がった作品の受け取り方は、金山焼店舗に直接受け取りに行くか、着払で発送してもらうかを選択する。

7 安全に実施するためのポイント

- ・ニードルの扱いに十分気をつける。